



鈴木愛美



中川優芽花



ブルース・リウ

グランシッププリサイタル・シリーズ ブルース・リウ・ピアノ・リサイタル ショパンコンクール覇者、県内初リサイタル 名曲と超絶技巧が交差する

音楽史に名を残す名ピアニストを数多く輩出し、世界の音楽ファンから熱い注目を集めるショパン国際ピアノ・コンクール。反田恭平や小林愛実、角野隼斗ら、日本人ピアニストの目覚ましい活躍でも話題となった第18回大会で、見事優勝の栄冠を手にしたブルース・リウによる県内初となるソロ・リサイタルを開催します。

今回お届けするのは、ブルース・リウがルネ・マグリットの絵画に触発されて選び抜いた楽曲の数々。夢想的でミステリアス、どこかシュールなイメージも漂わせ、彼が持つ表現の多面性を存分に味わえるプログラムです。ベートーヴェンの「月光」のように親しみのある名曲や、最高難度の曲の一つに挙げられるリストの「スペイン狂詩曲」など、世界の頂点を極めたピアニストが生み出す響きを、ぜひ生で体感してください。

グランシップでは2026年、若手ピアニストの登竜門である国際大会の優勝者が次々に登場。ブルース・リウに続いては8月に、2024年に開催された第12回浜松国際ピアノコンクールで日本人初となる第1位に加え、室内楽賞や聴衆賞も受賞した鈴木愛美が初めてグランシップのステージに立ちます。さらに11月には、2021年にスイスで行われた第29回クララ・ハスキル国際ピアノ・コンクールで、優勝および聴衆賞ほかもあわせて受賞し、現在ヨーロッパを中心に活躍する中川優芽花が演奏を披露します。

世界最高レベルの演奏を競うコンクールで、トップの座を手にした3人の若きピアニスト。今勢いのある奏者が奏でる三者三様の音をどうぞお楽しみください。

ブルース・リウ ピアノ・リサイタル

6/13(土) 17:00~

■ 中ホール・大地 ■ SS席9,000円、S席8,000円、A席7,000円、子ども・学生1,000円(28歳以下の学生/S・A席のみ)

〈曲目〉♪ベートーヴェン:ピアノ・ソナタ第14番「月光」嬰ハ短調 Op.27-2 ♪ショパン:ノクターン第7番 嬰ハ短調 Op.27-1

♪ショパン:ノクターン第8番 変ニ長調 Op.27-2 ♪ドビュッシー:夢

♪ベートーヴェン:ピアノ・ソナタ第21番「ワルトシュタイン」ハ長調 Op.53 ♪リスト:スペイン狂詩曲 他

※曲目は変更になる場合がございます。

最新情報は
こちらから



伝説のピアニストが残した言葉

ショパン国際ピアノ・コンクールで入賞し、グランシップ中ホールのこけら落としも務めた伝説的ピアニスト、故・中村紘子さん。かつて、ショパンについてこう語られたそうです。「世のピアニストでバッハが上手に弾けてもショパンが下手なピアニストはたくさんいます。でも、逆はない。ショパンが上手ならバッハも弾ける。それが本当のピアニストです」